

個票 9 希少動物の生育環境や生活史などを踏まえた保全・復元・創出及び移植方法の検討〔池 2(1)①3-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全
配慮事項	希少種の保全		
配慮事例	希少動物の生育環境や生活史などを踏まえた生息環境の保全・復元・創出及び移植方法の検討		
内容	<p>●希少動物の生育環境や生活史などを踏まえた保全・復元・創出及び移植方法の検討</p> <p>【解説】 事業により希少動物の生息地が消失するおそれがある場合、消失の回避を最優先としますが、希少動物の生息地への影響が回避できない場合、影響が最小となるよう努めます。代替となる生息地を確保する場合は、対象となる動物の生態を十分に把握し、生息環境として適切な場所の選定や整備に努めることが希少動物の保全につながります。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●複数案の検討 生物多様性配慮の進め方に則り、計画段階では、複数案について環境への影響を比較検討し、影響の低減に努めます。</p> <p>●段階的な減水 ①ため池減水時の底生生物や魚類の流出を防ぐため、ため池の水は一挙に減水するのではなく、日数をかけて減水します。 ②ため池のへドロには、水生植物の埋土種子や水生生物の卵や幼虫が含まれていることから、うわ水だけを排水するようにします。</p> <p>●水生生物の一時避難 魚類や水生生物はできるだけ捕獲し、別の池に生け簀を設けて一時避難させる方法もあります。</p> <p>●新しい生息環境の創出 ため池の改修にあたっては、工法の工夫により新たな生息環境をつくることが望まれます。</p>		

【事例 1】

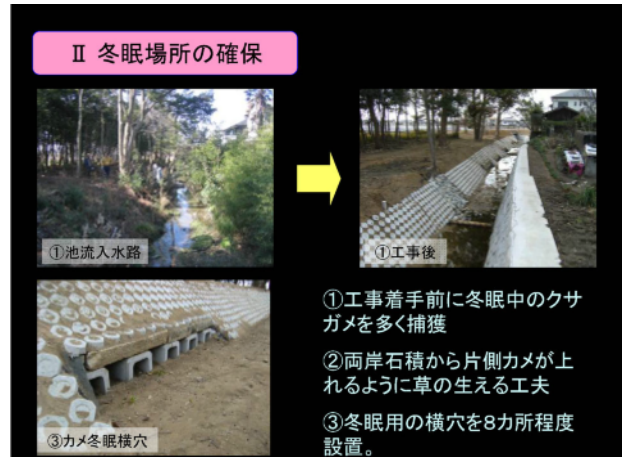
【場所】

兵庫県加古川市 寺田池

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・クサガメの保護と冬眠場所の確保
- ・工事前に捕獲し一時避難
- ・水路の片側をカメが上れるように草が生えるように工夫
- ・冬眠用の横穴を設置

事例：1



【事例 2】

【場所】

新潟県中魚沼郡 義ノ窪池

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・魚類、水生生物の一時避難

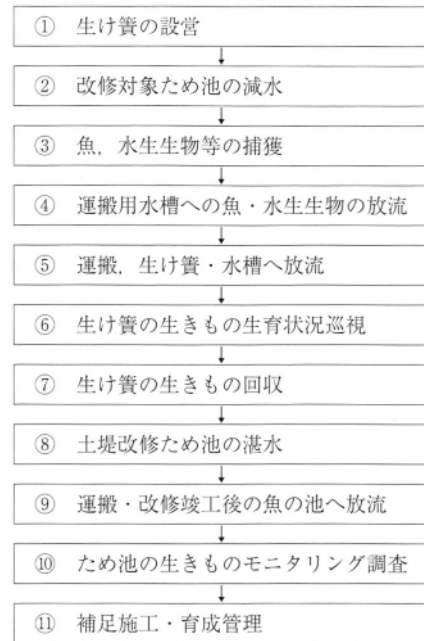


図-1 水生生物一時避難のフロー



写真-1 水生生物一時避難用生け簀



写真-2 ボートや沿岸からの水生生物の捕獲

事例：2

参考資料

- 1 「自然再生：生態学的アプローチ」 亀山章・倉本宣・日置佳之
- 2 「寺田池のクサガメ保護活動の取り組み」 兵庫県農政環境部農地整備課